

2018.09.02-2

熊本県高森町・阿蘇野草園のハガクレツリフネ、フシグロセンノウ。反省会



フシグロセンノウ(節黒仙翁)
ナデシコ科



ハガクレツリフネ(葉隠れ釣舟)
ツリネソウ科



根子岳1408m

11:35 南阿蘇ビジターセンター到着



フジカンゾウ(藤甘草) マメ科



フジカンゾウ(藤甘草)
マメ科



ナンバンハコベ(南蛮繁縷)
ナデシコ科



ヤブラン(蘘蘭)
ユリ科



フシグロセンノウ(節黒仙翁)
ナデシコ科



ヤマホトギス(山杜鵑)
ユリ科



シデシャジュン(四手沙参)
キキョウ科



シデシャジュン(四手沙参)
キキョウ科



ハガレツリフネ(葉隠れ釣舟)
ツリフネソウ科



ハガレツリフネ(葉隠れ釣舟)
ツリフネソウ科



ミズヒキ(水引) タデ科



ママコノシリヌグイ(継子の尻拭い)
タデ科



ママコノシリヌグイ(継子の尻拭い)
タデ科



キツリフネ(黄釣船)
ツリフネソウ科



ハガクレツリフネ(葉隠れ釣舟)
ツリフネソウ科



キリンゲショウマ(黄蓮華升麻)
ユキノシタ科




ミソハギ(稊萩)
ミソハギ科



ツルボ(蔓穂)
ユリ科




クサフジ(草藤)
マメ科



シオン(紫苑)
キク科



キツリフネ(黄釣船)
ツリフネソウ科



ベニシジミ(紅小灰蝶)
シジミチョウ科

クルマバナ(車花)
シソ科



ワレモコウ(吾亦紅、吾木香)
バラ科



フジカンゾウ(藤甘草)
マメ科



ヤマホトギス(山杜鵑)
ユリ科



タチフウロ(立風露)
フウロソウ科




キツネノマゴ(狐の孫)
キツネノマゴ科



ミズタマソウ(水玉草)
アカバナ科



フジカンゾウ(藤甘草)
マメ科



ヒメキンミズヒキ
(姫金水引)
バラ科



ツルボ(蔓穂)
ユリ科



ヤブミョウガ(藪茗荷)
ツユクサ科



ミズタマソウ(水玉草)
アカバナ科



ヤブラン(藪蘭)
ユリ科



シロヨメナ(白嫁菜)
キク科



ゲンショウコ(現証拠)
フウロソウ科
別名:フウロソウ(風露草)



クサフジ(草藤)
マメ科



カラスノゴマ (鳥の胡麻)
アオイ科



カラスノゴマ (鳥の胡麻)
アオイ科

(平成 20 年 6 月選定)

●「平成の名水百選」南阿蘇村湧水群

(昭和 60 年 8 月選定)

●「くまもと名水 100 選」



明神池名水公園

明神池は白水地区のほぼ中央に位置する湧水地で、広さ752㎡の池のいたる所から清水が噴き出しています。この明神池は約5,070㎡もある湖だったのが、昭和28年の大水害のために土壌が堆積し、湿原地状態となりました。その後平成2年に改修し、再び湖が形成され絶景の地となっています。

この湧水地には群塚神社という産神を奉った神社があり、ここの水は「誕生水」として「飲むと安産に効果あり」とされています。これにまつわる話として、昔（天正年間）当地区に吉田城があり、城主には子がなく、この水源で身を清め、境内にある誕生石に願いをかけられたところ、子宝に恵まれました。しかし、産後の肥立ちが思わしくなく乳が足りず、日に日に痩せ細る子どもたちに困り果てた奥方は、境内にあるイチョウの木に乳房のように垂れ下がっている気根を撫でられたその日から病氣も回復し、乳の出も良くなり、それ以来現在もなお、婦人の参拝する信仰が残っております。

また、日本最後の内戦である明治10年の西南の役で、会津藩家老佐川官兵衛は当地区長門屋の座敷（現存）にて南郷有志隊と薩摩軍に対する作戦会議を行い、この水で身を清め、当群塚神社に必勝を祈願された事実が残されています。

ミネラルデータ

pH (13℃)	ナトリウム (mg/ℓ)	カリウム (mg/ℓ)	カルシウム (mg/ℓ)	マグネシウム (mg/ℓ)
7.5	10.7	6.27	27.7	7.62

2トン

12:40



12:41 明神池



ヤマホトギス(山杜鵑)
ユリ科





13:44 明神そば



15:06 解散



17:56



17:56



18:01



20:52



20:52



20:52





21:08
雑魚屋 熊本東急REI店